

## 平成24年度 国有林モニター会議（佐賀）

### アンケート結果概要

対象者：国有林モニター会議（佐賀）参加者（15名）

モニター会議終了後、会議（現地見学）の概要や配付資料に関するアンケートを実施したところ、以下のような回答が寄せられました。

※同種の回答はまとめました。

#### I 11/17（土）国有林モニター会議について

##### 問1 佐賀森林管理署の取組紹介（午前）感想

〈主な意見〉

- ・鏡山からの眺望が良かった
- ・初めに虹の松原の全体像が分かって良かった
- ・資料は写真が多く、文字も大きく、色分けされており分かりやすかった
- ・マツクイムシ防除の対策は充実していると感じた
- ・佐賀森林管理署（佐賀県）特有の取組等聞きたかった
- ・鏡山山頂付近に、マツクイムシ被害木らしき一団があった。会場から近いので説明と併せて見学出来れば良かった
- ・虹の松原周辺の地形や都市化する集落等との関わりから、もっと説明が欲しかった
- ・計画と現実の乖離が発生している
- ・管理署の取組紹介は、紋切り型でわかりにくかった
- ・資料と説明があっておらず、話が長くて意味がなかった。ポイントを絞った説明が欲しかった
- ・寒い中、外ですべきでない。室内等、暖かい場所でゆっくり聞きたかった

##### 問1 まとめ

寄せられた回答から、鏡山西展望台にて、初めに虹の松原の全体像を遠望できたことが良かったとの感想を多くいただきました。また、説明や資料についても、佐賀森林管理署の概要がよく分かったとの評価を頂きました。しかし、当日の気温が低かったことから、説明等は屋内で聞きたかった等の感想が出されました。今後は、開催時期を初秋の過ごしやすい時期に設定するなど、対応を検討して参ります。

## 問2 虹の松原見学（午後）感想

〈主な意見〉

- ・想像していたよりもマツクイムシの被害が少なく、官民一体となった保全再生への取組の成果が感じられた
- ・可能な限りの保守が出来ていて、大変良いと感じた
- ・生育状況や取組の成果が分かる見学だった
- ・山林ではなく、海岸林の見学であり、普段は出来ない貴重な体験が出来た。
- ・有意義な視察だった
- ・実際に見学することで、マツクイムシ防除作業の大変さが分かった
- ・見学後、自分もボランティア等の機会があれば協力するのを感じた
- ・全体に松が疲弊しており、近い将来マツクイムシ被害の大量発生が懸念された
- ・松枯れの多さが残念。緑を再生して欲しい
- ・今回見たところは比較的良かったが、近いところにマツクイムシ被害が多いところもあり、両方見るのが「モニターの声を活かす」視察であると感じた
- ・時間配分が悪く、ポイント整理が出来ていないように感じた

## 問2 まとめ

寄せられた回答から、林内を散策し、「官民一体となった保全再生への取組の成果を感じた」との感想が多く寄せられました。一方、「被害が多い」という感想を持つ方もおり、今後の更なる取組の強化が期待されています。

また、現地視察の内容について、「被害が出ている現場を含めた方が良い」「ポイントを整理すべき」等の意見がありました。

### 問3 今回の国有林モニター会議（佐賀）全般の意見・感想

〈主な意見〉

- ・各県から多くの参加があり、多様な意見が出ていて良かった
- ・官民一体となった保全再生の取組から、市民が協力して取り組むことで、良い結果を得られると感じた。自分達が出来ることから、行動するべきと思った
- ・有意義なモニター会議だった
- ・視察の観点など、適宜案内などがあればさらに良かった
- ・昼食時間を短くして、意見交換の時間を増やした方が良い
- ・説明や紹介が長すぎる。意見交換の時間を増やして欲しい
- ・帰りの電車の時間に配慮して欲しい
- ・全体として、時間にゆとりを持って欲しい
- ・短い貴重な時間であるので、ポイントや議題は焦点を絞った方が良かった
- ・時間配分やパーソナルスペースの確保等に配慮すべき
- ・ジェンダーバランス等に問題を感じた。女性や若者の参画を進めてほしい

### 問3 まとめ

モニター会議の開催については、多くの方々から好評を得ました。普段、森林や林業に関するイベントや見学会等に参加する機会が「ない」「少ない」という方が多かったことが理由と考えられます。

しかし、モニター会議の内容については、時間が短かったことや、時間の割に内容が多岐にわたり理解しにくくなってしまった点など、改善を求める意見が多く出されました。今回のモニター会議では、意見交換の時間を十分確保できなかったために、全員に発言の機会が回らなかったことが理由と考えられます。

#### 問4 その他、意見を言い足りなかった点、わかりにくかった点等

〈主な意見〉

- ・襟裳岬の緑化に関するDVDは役に立つものだった
- ・モニター会議は、現地視察、意見交換等、当地の実情が分かり非常に良い。各県回りで続けて欲しい
- ・選挙も近いので、TPPと国内林業への影響等についても聞きたかった
- ・集成材工場等も見学できれば良かった
- ・木質バイオマスの利用拡大に関して、発電やストーブの燃料として今後積極的にやるべきではないか
- ・都市化の波から松原をどう守っていくのかも大切な事と思う
- ・虹の松原には種田山頭火の歌碑などがあり、車から見える一目で分かる案内板など設置してあれば、利用者に喜ばれる
- ・旅費等、振込でなく直接手渡しにして欲しい（手間がかかりすぎるため）
- ・国有林モニターの任期は現在1年更新であるが、2年更新にすべき
- ・九州北部の会員が少ない
- ・宮崎県一ツ葉海岸の松林などと比較して劣っていないか？相互に情報交換するなどして、名勝地に恥じない緑の再生をして欲しい

#### 問4 まとめ

当日の意見交換会の時間が短かったため、多くの回答を寄せていただきました。当日の主題であった虹の松原国有林の保全再生の取組以外の部分で、多くのモニターの方から質問や意見、期待の声が寄せられました。今後、資料の配付等を通じて、情報発信に努めて参りたいと考えます。

## Ⅱ 配布した参考資料について

### 問 今回配布した資料への意見・感想

〈主な意見〉

- ・カラーで、写真、データ、表等が多く使われており、野外で使用する資料は文字が大きく、見やすく読みやすい
- ・資料が多い。内容が詳細すぎる。一冊などコンパクトにまとめてほしい
- ・縮尺の大きな地図があると、さらに分かりやすい
- ・資料で紹介されている、今後編纂される虹の松原の調査報告書について、内容を紹介して欲しかった

まとめ

資料については、写真やデータ、文字の大きさ等で好評を得ました。しかし、「内容が詳細過ぎる」「資料の量（冊数）が多く、わかりにくい」などの意見があり、必要最小限の情報掲載等、分かりやすい情報発信に努めて参りたいと考えます。

### Ⅲ その他

#### 問 その他、国有林や森林・林業全般に対する意見・要望等

〈主な意見〉

- ・林野庁の別の資料に、23年度の鳥獣被害が8百haとの記述があったが、実際はさらに深刻なはず。正確な実態把握が有効な対策・施策には不可欠
- ・放置山林が大きな問題であり、境界線の判明が難しくなる等、手入れをする山林所有者には迷惑な話。法的措置など対応してほしい
- ・花粉症対策として、スギ人工林の整備を進めてほしい
- ・各県毎の県産材利用拡大でなく、九州材としての需要拡大に一層の取組を期待し、モニターとしても努力したい
- ・登山道（国有林）にプラスチック樹脂製の踏み板（階段）や加工石の敷石があるが、滑りやすく危険もある。国産材利用を推進するなら、国有林内では特に木材を利用した整備をして欲しい
- ・国有林の整備が国土を守っているのだから、しっかり整備し、さらに農業や漁業への波及効果等を期待する
- ・地域林業を支援する新たな人材であるフォレスターを、官だけでなく市民にも広げてもらいたい
- ・日本の林業の活性化のリード役は、人・組織力・専門性などの面から、行政である林野庁が担うべきである
- ・国有林モニター会議の折には、記念植樹を実施すると良い
- ・バイオマス発電関係の学習や見学を取り入れて欲しい
- ・林業関係者以外の意見も充分聴取し、業務に活用してもらいたい
- ・林野庁広報誌「RINYA」は、林業や関連のイベント等よく分かる。貴重な資料であり、続けて欲しい
- ・林野庁広報誌「RINYA」のアンケート（隔月、年6回）は、効果に疑問
- ・九州間伐紙『木になる紙』のPRを望みます
- ・モニターを増やして欲しい
- ・周知が足りていない。改善すべき
- ・将来を見据えた施策を一步ずつ進めてほしい

まとめ

国有林や森林・林業全般に対する多様な意見・要望等が出されました。鳥獣被害対策等への取組の強化や深刻な問題となっている放置山林についての対策、森林資源の有効利用の促進、国土保全のための森林整備、森林空間の利用者の目線での整備、人材育成、森林・林業関連情報の発信、双方向の情報・意見の交換など、多様な意見が出されました。